

平成25年度 前期選抜の選抜・評価方法(予定)

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

人物ならびに学習成績に優れ、入学後も学習活動に意欲的に取り組むとともに、部活動・生徒会活動などの特別活動に積極的に参加する者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う学力検査の成績
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書の記載事項
(3) 学校独自問題	検査2日目の2教科(数学・英語)の学校独自問題の成績
(4) 志願理由書	志願者が直筆した「志願の理由」「自己アピール」の内容

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で算出した数値で評価する。 3年次に評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	総合的に判定する際の資料とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の資料とする。

(3) 学校独自問題(基礎:数学、英語)

各評価基準を基に数値の合計値で評価する。(各科目100点満点、合計200点満点)

教科	評価基準
数学	数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての知識の理解度をみるとともに、それらを用いて適切に処理する能力をみる。
英語	英語とその運用についての基礎知識の定着度をみるとともに、英語の文章を読んだ的確に理解する力および英語で適切に表現する力を見る。

(4) 志願理由書

調査書を補完するものとして総合的に判定する際の資料とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

①	ア 調査書の「教科の学習の記録」を算式1で数値化し、その合計値で順位をつける。 イ 学力検査の合計値に学校独自問題の合計値を加え順位をつける。 ウ ア・イとともに予定人員の80%以内に入り、かつ調査書の記載内容等で特に問題となる点がない者を入学許可候補者内定者とする。 なお、受検者が予定人員に満たない場合は、「予定人員の80%以内」を「受検者の80%以内」と読み替える。
②	①で内定者とならなかった者については、上記①アの点数、学力検査の得点及び学校独自問題の得点を合計する。合計点の高い順に審議し、総合的に判定し、予定人員の人数までを入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面接を行う。